



2023年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 日機装株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6376 URL <https://www.nikkiso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甲斐 敏彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画本部長 (氏名) 村上 雅治 TEL 03(3443)3711
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 2023年9月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	87,219	△0.4	26	—	5,444	67.6	4,015	109.7	3,873	102.6	8,996	△44.5
2022年12月期第2四半期	87,554	12.9	△286	—	3,248	△21.2	1,914	123.1	1,911	153.3	16,199	140.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	58.54	58.46
2022年12月期第2四半期	26.83	26.80

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	298,426	123,863	122,127	40.9
2022年12月期	286,602	115,764	114,227	39.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2023年12月期	—	12.50	—	—	—
2023年12月期 (予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	7.3	4,000	△88.3	7,500	△77.1	5,100	△62.6	77.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積もりの変更：無

(注) 詳細は、四半期決算短信 添付資料11ページの「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年12月期2Q	69,175,664株	2022年12月期	74,286,464株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年12月期2Q	2,992,356株	2022年12月期	8,124,789株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年12月期2Q	66,169,303株	2022年12月期2Q	71,255,311株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 決算成績の概況

2023年第2四半期の世界経済は、COVID-19収束後の経済活動の正常化が進み景気回復への期待が高まったものの、ウクライナ情勢不安の長期化、米中の緊張状態等の地政学リスク、世界的な物価高と金融引き締めによる消費の下振れ、米欧金融機関の相次ぐ経営危機からの金融不安、中国経済の回復の遅れ等もあり、先行き不透明な状況が続きました。

インダストリアル事業の主要市場であるLNG、次世代エネルギー関連市場は、足元では欧州地域などで天然ガス価格が高止まりするなか、中長期的なエネルギー確保、低・脱炭素化の動きは継続し、設備投資需要は伸長しています。航空機市場は、小型機（単通路機）の需要が活況のなか、中型機の需要も徐々に回復方向にあります。サプライチェーンの再構築に時間を要しており、航空機産業全体の生産量の回復は遅れています。メディカル事業の主要市場である血液透析市場は、国内需要は堅調に推移、海外は市場拡大の著しい中国が引き続き好調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、受注高 98,510百万円（前年同期比13.6%減）、売上収益 87,219百万円（同0.4%減）、営業利益 26百万円（前年同期は営業損失286百万円）、税引前四半期利益は、主に円安による為替差益の計上により 5,444百万円（同67.6%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は 3,873百万円（同102.6%増）となりました。

なお、2022年12月期第2四半期連結累計期間の当社グループ業績には、2022年8月から連結対象外となったLEWA GmbH および Geveke B.V. の業績が含まれていますが、その両社の業績を除くと、2023年12月期第2四半期連結累計期間のインダストリアル事業全体の受注高、売上収益、営業利益は対前年同期比で大きく増加しています。

② セグメント別の状況

(単位：百万円)

	2022年12月期 第2四半期実績	2023年12月期 第2四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	114,039	98,510	△15,529	△13.6%
工業部門	75,373	58,632	△16,740	△22.2%
インダストリアル事業	69,295	51,963	△17,331	△25.0%
航空宇宙事業	5,125	6,245	+1,120	+21.9%
医療部門	38,885	40,032	+1,146	+2.9%
売上収益	87,554	87,219	△334	△0.4%
工業部門	51,322	45,483	△5,838	△11.4%
インダストリアル事業	45,204	38,679	△6,525	△14.4%
航空宇宙事業	5,133	6,373	+1,239	+24.1%
医療部門	36,450	41,887	+5,437	+14.9%
セグメント利益	△286	26	+313	—
工業部門	1,605	△989	△2,594	—
インダストリアル事業	2,586	570	△2,015	△77.9%
航空宇宙事業	△819	△763	+56	—
医療部門	34	3,658	+3,624	—
調整額（全社費用等）	△2,077	△2,680	△603	—
税引前四半期利益	3,248	5,444	+2,196	+67.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,911	3,873	+1,961	+102.6%

※ 工業部門合計欄には、深紫外線LED事業の金額が含まれています。

※ セグメントごとの各金額欄には、内部取引控除前の金額を表示しています。

※ インダストリアル事業の各金額欄（2022年12月期第2四半期実績）には、LEWA/Geveke社の受注額30,943百万円、売上収益20,332百万円、セグメント利益3,054百万円を含んでいます（内部取引控除前の金額）。

《事業セグメント別の事業環境と事業概況》

＜インダストリアル事業＞

■事業環境

- ・LNG、次世代エネルギー関連市場は米国、アジア、欧州など海外を中心にエネルギー確保や、脱炭素化によるLNGや水素関連への投資が継続。
- ・電子部品市場は、汎用MLCC（積層セラミックコンデンサー）市場の在庫調整が継続しハイエンドMLCC市場も弱含みで、設備投資需要は減速。パワー半導体に関する引き合いは引き続き旺盛。

■2023年12月期第2四半期の事業概況

- ・Clean Energy & Industrial Gasグループは、米国LNG液化基地やアジアにおけるLNG受入基地等の大口案件獲得により、受注高は前年同期から大幅に増加。当第1四半期から韓国・中国でのLNG燃料船向けの燃料供給装置の本格生産開始などにより、売上収益も大きく伸長。収益面では、人件費の上昇、体制整備等の固定費増加に加え、原材料・部品価格の高騰や急激な受注増に対応するための生産コストが増加するも、増収効果もあり増益。
- ・キャンドモータポンプは、半導体関連産業向けの需要は一服するも、海外の化学関連向けの受注は堅調に推移。原材料・部品価格高騰に対し、販売価格の適正化を進めているが、未だ効果は限定的。
- ・電子部品製造関連装置は、電子部品市場における足元での投資抑制を受けて、受注高は前年同期比、計画比ともに減少。既受注案件の生産・出荷を進め、売上収益は前年同期並みを維持。

＜航空宇宙事業＞

■事業環境

- ・小型機（単通路機）の需要が活況、中型機の需要も徐々に回復方向。その一方、航空機メーカーはサプライチェーンの再構築などで、増産に時間を要している。

■2023年12月期第2四半期の事業概況

- ・航空機産業全体のサプライチェーン再構築の回復は想定より遅れてはいるものの、主力製品のケースケードをはじめ、ベトナム ハノイ工場での主翼部品等の出荷も回復基調にあり増収。一方、原材料価格高騰の影響や仕掛品増加などにより収益面では前年同期並みにとどまる。

＜メディカル事業＞

■事業環境

- ・血液透析装置の国内需要は堅調、海外では市場拡大の著しい中国市場の引き合いが好調を継続。
- ・CRRT事業は、経済活動が活発化する中国市場の需要が堅調に推移。

■2023年12月期第2四半期の事業概況

- ・血液透析装置の国内販売は、原材料・部品調達が徐々に改善、前年からの受注残も含めて生産・出荷が進み、前年同期を上回る。海外販売は、中国、タイなどのアジア市場が牽引する形で前年同期を上回る。
- ・原材料・部品価格高騰影響は前年から一部継続するも、血液透析装置および消耗品の販売増と販売価格の適正化による増収などで、大幅な増益。
- ・一過性費用（2022年12月期第2四半期におけるヘルスケア事業の棚卸評価損計上 約15億円等）の解消。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は298,426百万円となり、前連結会計年度末に比べて11,824百万円増加しました。棚卸資産の増加が主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は174,563百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,725百万円増加しました。契約負債の増加が主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は123,863百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,099百万円増加しました。在外営業活動体の換算差額及び利益剰余金の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年2月14日に公表いたしました数値から変更しております。詳細につきましては、本日発表いたしました「2023年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	48,462	42,538
営業債権及びその他の債権	53,628	55,173
その他の短期金融資産	343	472
棚卸資産	49,100	56,115
未収還付法人所得税	726	651
その他の流動資産	5,694	7,621
流動資産合計	157,955	162,573
非流動資産		
有形固定資産	50,971	52,897
のれん及び無形資産	33,785	37,305
使用権資産	16,418	16,637
持分法で会計処理されている投資	3,600	4,036
長期金融資産	20,423	21,441
繰延税金資産	2,792	2,841
その他の非流動資産	653	693
非流動資産合計	128,646	135,853
資産合計	286,602	298,426

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期借入金	10,835	17,679
営業債務及びその他の債務	29,138	31,028
リース負債	2,607	2,804
その他の短期金融負債	637	973
未払法人所得税等	1,550	2,982
引当金	937	1,052
その他の流動負債	25,528	29,731
流動負債合計	71,235	86,251
非流動負債		
長期借入金	63,193	51,542
リース負債	12,702	12,631
その他の長期金融負債	13	128
退職給付に係る負債	2,340	2,379
引当金	1,863	1,879
繰延税金負債	19,395	19,658
その他の非流動負債	93	93
非流動負債合計	99,602	88,311
負債合計	170,837	174,563
資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	10,969	6,239
自己株式	△7,491	△2,753
その他の資本の構成要素	22,503	27,326
利益剰余金	81,702	84,769
親会社の所有者に帰属する持分	114,227	122,127
非支配持分	1,537	1,736
資本合計	115,764	123,863
負債及び資本合計	286,602	298,426

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	87,554	87,219
売上原価	△62,510	△65,323
売上総利益	25,043	21,895
販売費及び一般管理費	△26,087	△22,213
その他の収益	864	382
その他の費用	△106	△37
営業利益 (△は損失)	△286	26
金融収益	4,076	5,634
金融費用	△571	△378
持分法による投資損益 (△は損失)	30	162
税引前四半期利益	3,248	5,444
法人所得税費用	△1,334	△1,429
四半期利益	1,914	4,015
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,911	3,873
非支配持分	2	141
四半期利益	1,914	4,015
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	26.83	58.54
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	26.80	58.46

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	1,914	4,015
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	△60	549
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
合計	△60	550
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	15,319	4,333
キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	△1,533	△195
持分法適用会社に対する持分相当額	560	291
合計	14,346	4,430
税引後その他の包括利益	14,285	4,981
四半期包括利益	16,199	8,996
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	15,947	8,717
非支配持分	252	279
四半期包括利益	16,199	8,996

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2022年1月1日	6,544	10,976	△2,495	5,524	2,631
四半期利益					
その他の包括利益				△60	15,630
四半期包括利益合計	—	—	—	△60	15,630
自己株式の取得			△0		
自己株式の処分		0	2		
配当金					
株式に基づく報酬取引		△13	18		
利益剰余金への振替				△0	
所有者との取引額等合計	—	△12	20	△0	—
2022年6月30日	6,544	10,964	△2,475	5,463	18,261

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2022年1月1日	△492	7,662	69,509	92,197	2,002	94,199
四半期利益			1,911	1,911	2	1,914
その他の包括利益	△1,533	14,035		14,035	249	14,285
四半期包括利益合計	△1,533	14,035	1,911	15,947	252	16,199
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の処分				3		3
配当金			△712	△712	△74	△786
株式に基づく報酬取引				4		4
利益剰余金への振替		△0	0	—		—
所有者との取引額等合計	—	△0	△712	△704	△74	△778
2022年6月30日	△2,026	21,698	70,708	107,440	2,180	109,620

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2023年1月1日	6,544	10,969	△7,491	6,437	15,977
四半期利益					
その他の包括利益				550	4,488
四半期包括利益合計	—	—	—	550	4,488
自己株式の取得			△0		
自己株式の消却		△4,718	4,718		
配当金					
株式に基づく報酬取引		△10	20		
利益剰余金への振替				△21	
所有者との取引額等合計	—	△4,729	4,738	△21	—
2023年6月30日	6,544	6,239	△2,753	6,966	20,465

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2023年1月1日	88	22,503	81,702	114,227	1,537	115,764
四半期利益			3,873	3,873	141	4,015
その他の包括利益	△195	4,843		4,843	137	4,981
四半期包括利益合計	△195	4,843	3,873	8,717	279	8,996
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の消却				—		—
配当金			△827	△827	△79	△906
株式に基づく報酬取引				9		9
利益剰余金への振替		△21	21	—		—
所有者との取引額等合計	—	△21	△805	△817	△79	△897
2023年6月30日	△106	27,326	84,769	122,127	1,736	123,863

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下の基準書を除き前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IAS第12号	法人所得税	単一の取引から生じた資産及び負債に係る繰延税金の会計処理の明確化
IAS第12号	法人所得税	国際的な税制改革－第2の柱モデルルールを導入するために制定又は実質的に制定された税法から生じる法人所得税の会計処理及び開示の要求事項に対する一時的な例外の導入

上記基準書の適用が要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。なお、第2の柱モデルルールに関連する繰延税金資産及び繰延税金負債の認識及び開示を不要とする一時的な例外規定が設けられており、当社グループは当該例外規定を遡及して適用しているため、第2の柱モデルルールに関連する繰延税金資産及び繰延税金負債は認識しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。